

会報 まちなみ

創刊号

平成27年5月



ごあいさつ

理事長 城戸 拓一

登録有形文化財や、それ以上の保存価値ある古民家は、滑川市にも富山県にも多く存在しますが、多くは寺院・農家・網元・商家等が点在になっており、町家等が一か所に固まって存在するのは、非常に珍しい状況です。この百年余、戦禍や大火災の被害が少なかったことによりこの伝統的な古民家町家が滑川市瀬羽町に残存している大きな要因と思われます。

これらの滑川市瀬羽町を中心とした旧北国街道沿いの歴史的建築物の保存と活用を趣旨として、去る平成22年5月22日に、「滑川宿まちなみ保存と活用の会」(任意団体)を結成し、さらに組織の充実化のために平成25年4月に、特定非営利活動法人化(NPO)を実施し、この平成27年4月には、第3期に入り、さらなる発展に努力してまいります。ここに、当NPOからの報告お知らせを行うとともに、会員各位のより活発な紙面を通じての交流の場の提供を図り、また、新会員募集への一助とすることの為に、会報を発行する事と致しました。皆様の積極的なご利用をお願いいたします。

● 事業実績 ●

5月 端午の節句

鯉のぼりと武者人形飾り、子ども遊ばせ隊、折り紙教室
春季雪嶋神社祭礼と獅子舞鑑賞、定期総会



6月 琵琶演奏会・大正琴演奏会

錦心流琵琶全国一水会富山支部（代表・囲光弘氏）は薩摩琵琶との交流演奏会を「ほんぼこさ」（旧宮崎酒造）にて開催した。優雅かつ伝統の音色と漢詩・和歌等の吟が、酒蔵の座敷に響き渡った。

大正琴の琴友会（代表・正満範子氏）は、「ほんぼこさ」にて、演奏会を開いた。高岡市から歌手・石川操さんも出演、「いつでも夢を」や「瀬戸の花嫁」等、なじみのある曲を琴の伴奏で歌い、また、聴衆が合唱するコーナーもあり、歴史ある建物に歌声が響いた。

富樫豊講演会

城戸家にて「まちづくり」に関する講演研修会を開催。先生としてのベテランの富樫氏の話しぶりに、学生時代の授業・講義を思い出した人も少なからず。

7月 宇津木妙子先生の講演、及び、ソフトボール教室

千先久矩氏のご尽力により、宇津木妙子先生の講演が観衆多数で実現、また、ソフトボール教室には、地元滑川以外の高校や中学からも女子ソフトボール部員が多数参加しました。なお、その後8月には、先生のリードにより日本チームは世界選手権優勝。

8月 ベトナム・ランタンまつり（宮崎酒造） 昭和おもいで写真展（橋場・廣野家）

駄菓子屋・子ども遊ばせ隊 瀬羽町・城戸家

例年のランタンまつりに加え、駄菓子屋・子ども遊ばせ隊、昭和おもいで写真展をも開催、多数の来場者が実現。翌日は台風の影響で、残念ながら、早く終了。



ベトナム・ランタンまつりに寄せて

久保 禎子

滑川の瀬羽町、旧宮崎酒造を中心に開催される、「ベトナム・ランタンまつり」は6年目を迎えるまだまだ歴史の浅いお祭りです。私は今年もベトナムスイーツ「チェー」のお店で参加予定です。

普段は人通りの少ない旧市街ですが、この二日間だけはたくさんのお店が所狭く並び、ベトナム色に染まった界限は人また人で瞬く間に埋め尽くされます。中にはベトナムの民族衣装アオザイを着た女性や、バッグや小物を手にしている人たちで、情緒ある数百の灯りの燈ったランタンの中、ベトナムのホイアンに似た古い町並みはエキゾチックな異国の風情を醸し出してくれます。

滑川の夏と言えば「ベトナム・ランタンまつり」と、たくさんの方に来ていただけるように市内外に更にこのお祭りを広めていきたいと思っています。

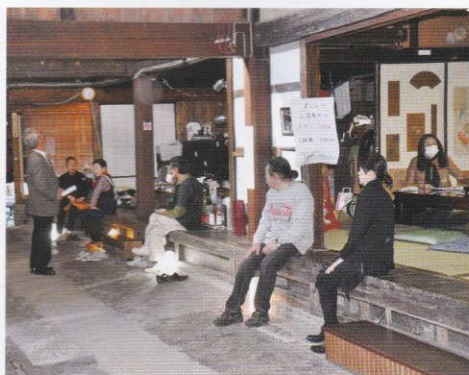
9月 研修会（上市町大岩日石寺）

大岩日石寺で早朝から写仏研修、その後、上市町観光協会ボランティア山崎弘氏の案内で、日石寺の内外を見学。本会は敬老会を兼ねての開催。



10月 酒蔵アート in なめりかわ2014

滑川の芸術各界から11名が集まっての一大展示会をほんぼこさ（旧宮崎酒造）で開催。水野利詩恵先生をはじめとするみなさまのご尽力により、のべ1,000名にせまる参観者。



11月 文化講演会

高慶 孝先生 歴史よもやま話 堀江荘をはじめとする地元の歴史

下村克己先生 ITを生かした、農業経営とまちづくり活動

宿場回廊めぐり（滑川市観光協会主催）を後援

廣野家・城戸家・永井家（旧種井家）・ほんぼこさ（旧宮崎酒造）・養照寺を一般公開

11月29日（土）～30日（日）

山形大学教育学部永井康雄教授建築史研究チーム8名が来滑、視察見学

投 稿 文

滑川のまちなみから感じたこと

山形大学地域教育文化学部3年

小野田 進之介

山形大学で建築を学ぶ学生としてこの滑川のまちなみを見て、新たな発見がたくさんありました。

いま建築を大学や専門学校で学んでいる者は、家づくりの新しい技術やどこにもない斬新なデザインにとらわれがちです。実際、新しい近代的な家づくりこそがこの現代、もっとも求められているトレンドだと思っていました。

しかし、この滑川は違いました。日本家屋の典型ともいえるべき趣深い家の特徴、富山の職人の工夫によってあらわされるここでしか見たことのない見事な欄間や建具の装飾、すりガラス一枚にしても手間をかけた技術の表れ、なによりもすごいのがその技術が町の人々の協力によって保存され現存しているということです。

町の人々との交流でいろんな話がきけました。滑川の人口が減っているという事、しかし、それを食い止めるためにまちなみ保存と活用の会を立ち上げた事、徐々に遠方からも人が集まり、お店をつくり、イベントなども企画し集客に工夫していること。このまちの活性化に地域ぐるみで協力していること、やがては若者にこのまちを託していくのが目標ということが聞けました。

このような話を聞くと、注目すべきは伝統技術によって建てられている建物もさることながら、それらを起点とした人々のまちを残そうとするパワー、“人” そのものがこのまちを豊かにしているのだと感じました。

新しいまちをつくることよりも、この滑川のように現存するまちを地域で“よりよくすること”こそが私たち建築史研究室の学ぶべきものだと思います。このような大事なことを気づかせてくれたこの素晴らしい町にぜひともまた訪れたいです。

2月28日(土)～3月3日(火) 雛祭り

春の到来とともに、恒例の「雛祭り」をぼんぼこさ(旧宮崎酒造)で開催、出展各位のご協力により16組の豪華な雛人形が揃いました。

特に、今回は江戸時代加賀百万石前田家に伝わる由緒ある格式ある雰囲気再現した「次郎左衛門雛」が出展され、加賀文化の技術の粋を味わう

ことができました。また、伝統的な「花嫁衣裳」や着物等の展示、自主製作の布帛小物の即売会も併催。



3月1日(日)には、西村妙子先生ご一同の琴演奏会が催され、視聴者のみなさまは、「春の海」や懐かしい曲を堪能いたしました。4日間で、延べ約500名の参観。



3月14日（土） 下村豪徳様主催（有隣庵イベント）「本気で夢を宣言する会 in 滑川」

厚生連高岡病院内科
医長 藤田健太郎先生
の講話や、夢響村塾と
やま代表 上野起与人
様のおはなしをベース
に、「本気で夢を宣言
する場」に集まり、熱
い思い・夢・やりたい
ことを、宣言し、夜
を徹して語り合いまし
た。



*永井家（旧土肥家・種井家）の修復工事が進み、永井教授は、「有隣庵」と命名されました。論語の「徳不孤 必有隣」（徳は孤ならず、必ず隣有り）からの命名です。この有隣庵は、会員皆様による有意義な活用ができるようになりました。（別途案内いたします。）

投 稿 文

第9回 本気で夢を宣言する会 in 滑川

3月14日 有隣庵にて

下 村 豪 徳

平成27年3月14日（土）有隣庵にて「第9回 本気で夢を宣言する会 in 滑川」を開催致しました。

「本気で夢を宣言する会」は過去の8回全て呉西地区（小矢部市）にて開催されている会で、夜通しで参加者の前で数年後の未来や本気でやりたい事を本気で宣言し、みんなから応援をもらい実現に向けて日々行動するというものである。

今回、初の呉東開催の会場に有隣庵が選ばれました。「徳不孤 必有隣」から名付けられた有隣庵はまさしく「本気で夢を宣言する会」の目的と一致した素晴らしい会場で参加者からも大変好評だった。

当日は15時から会が始まり、市内・市外の20代から60代までが集まった。

最初は講師として、厚生連高岡病院 藤田健太郎医師が「ホっこり」をテーマに講演頂いた。現代医療の疑問、医療の本質、自然の循環、「食」「心」「体」「呼」「環」のバランス軸を取る事で病気にならない身体を作るなど医療現場からの生の声は参加者にはとても

興味深い内容だった。また、藤田先生は夢実現のために、医療の裾の尾を広げる会、ホッこりハウスを立ち上げるなど今後の活動に期待される。

食事が終わり落ち着いた20時頃、いよいよメインのイベント本気の夢宣言が始まった。司会進行は八尾市大長谷で農業を営む夢響村塾とやま 代表 上野起与人氏。

参加者は挙手でみんなの前で順番に夢を宣言していく。インターン生の学生も参加しており、20代の純粋な夢なども聞くことができた。中には感極まって泣きながら夢を語る人や、数年後のワクワクする富山象を語る人など充実した時間となった。

富山県人の暖かさに触れ「数年後には富山県に移住します」と宣言するインターン生。また、数年前に夢を宣言した事で政治家になった人など。みんなの夢は大きい、小さいは関係なくどれも応援したくなるものばかりだった。

今回も夢の宣言は朝まで続き、深夜26時を過ぎても語っている人がいました。この会に参加し、夢を宣言した参加者の今後の活動に期待したい。

● 今後の行事予定 ●

5月2日(土)～6日(水)	端午の節句、春の一般公開
5月21日(木)	雪嶋神社春祭、獅子舞鑑賞会・定時総会
22日(金)	“いもけんぴい”コンサート (後援)
23日(土)	錦心流琵琶演奏会
8月1日(土)～2日(日)	ベトナム・ランタンまつり in なめりかわ
10月14日(水)～18日(日)	第3回酒蔵アート in なめりかわ
11月14日(土)～12月23日(水)	岩城庄之丈展
H28年3月	ひなまつり

○骨董ふりま 毎月最終土日開催

○かふえ・ぼんぼこさもご利用下さい。



● 役員一覧 ●

理事長	城戸 拓一	副理事長	金山 彰夫
理事	小森 忠 (幹事長兼イベント部長)	理事	中野 重光 (調査保存部長)
理事	小沢 政商 (経理部長)	理事	久保 禎子 (総務部長)
監事	富樫 豊	監事	千先 久矩

● 本会では会員を募集しています。

1 会員及び会費

一般会員 年額 2,000円

法人会員 年額 一口20,000円から

賛助会員 年額 3,000円+入会金3,000円

※賛助会員は、行事等の企画立案から実行まで参画できます。(実績に応じて謝礼有り)

2 主な活動

- (1) 伝統行事の主催、協賛
- (2) 各種演奏会、落語会、講演会など
- (3) 歴史と文化に関わるイベント、交流事業など
- (4) 各種広報活動

3 会員の特典

- (1) 各種行事の優先案内
- (2) 有料行事等への割引券発行
- (3) かふえ・ほんほこさの飲物割引券
- (4) 有隣庵の優先的使用

4 申し込み先

〒936-0063 富山県滑川市瀬羽町1862 NPO法人滑川宿まちなみ保存と活用の会

Tel 076-475-0015 又は 080-7002-9784 e-mail:takuichikido@gmail.com

5 寄付金の募集

寄付金募集状況は、実績不十分の状況にあり、みなさまの更なるご協力により、少しでも多くの収入が実現できるように、謹んでお願い申し上げます。

郵便振替口座 00740-1-100802

(NPO法人) 滑川宿まちなみ保存と活用の会

(ナメリカワジュクマチナミホゾントカツヨウノカイ)

● 雑 感 ●

3月JR北陸新幹線金沢まで開業に伴い、北陸本線在来線の富山県部分がなくなった。家族旅行や大学受験以来50有余年、滑川-富山-大阪を往復200回以上、家族旅行・大学受験、関西に住みつてからは、季節毎の帰省、家族の不幸でのつらい帰省、彼女を伴った結婚連絡の嬉しい帰省、子供たちを連れての5人帰省・・・「立山」「白鳥」「雷鳥」そして、「サンダーバード」。高校時代、当初はC57蒸気機関車に引かれて、その後、複線交流電化で、電気機関車が走っての通学。最近、青春18の各駅停車での「鉄ちゃん旅」。

これからはどうなるの？ 北陸新幹線、あいの風とやま鉄道、富山地方鉄道、ライトレール、JR高山線・・・鉄道マニアにとっては素晴らしい。(T. K)